

川口一晃の Weekly レポート 2018.1.29 配信

<ドル円>



「どこまで下げるのか」

***ドル円日足 ペンタゴンデータ

起点 2014年5月21日

一辺 34日の大きさ

メモリ 24円幅

★★★相場の長期ポイント

下落エネルギーの強い相場に転換した。

下値のメドは **107 円 50 銭**前後を考えたい。

上昇エネルギーへの転換のポイントは **111 円 75 銭**を終値で超えることである。

注目日：1 月 31 日前後である。

● B E ラインに注目したい。下値支持線 B E ラインを割り込むと、右下に新しいペンタゴンが描き足されることが考えられる。そうすると、価格水準が一段と下がることになることから、下値不安がさらに広がる可能性があるからだ。

第 1 シナリオ

軟調な展開が続く可能性はある。右肩上がりの C E ラインに沿って推移している。上値抵抗線 D E ラインが控えている。C 点および D 点が位置する時間帯を通過しても下落が続いているからである。

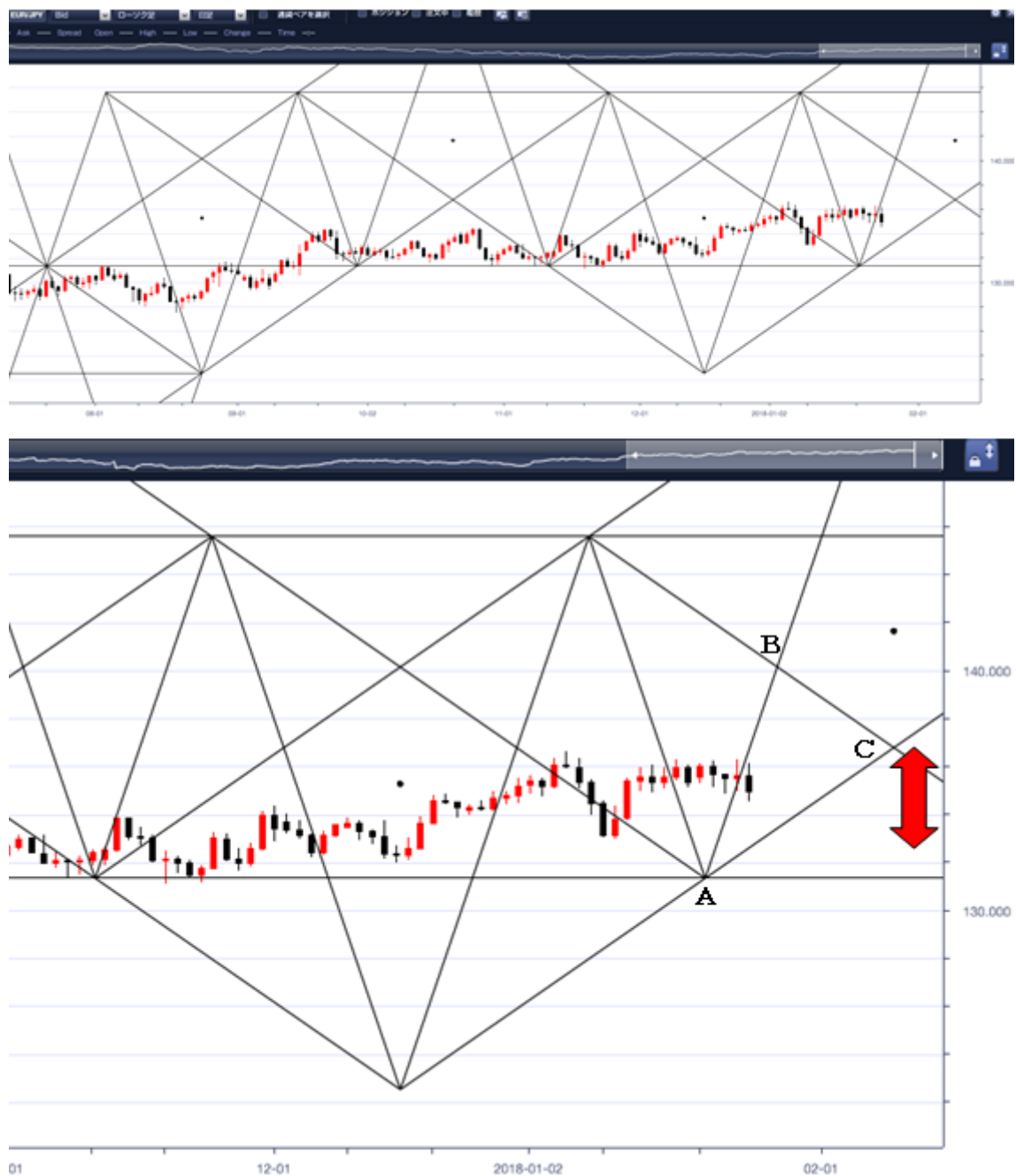
第 2 シナリオ

下げ止まりから反発に転じる可能性も出てきた。下値支持線 B E ラインが存在している。B E ラインの真下には右肩上がりの A E ラインも控えている。そして、現ペンタゴンの中心点の上方を通過していることから、次のペンタゴンが右下に描き足される確率が低いからである。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（1 月 9 日）	112 円 50 銭	108 円 30 銭
ポジション変更	110 円 25 銭を越えれば、買いポジションに	

<ユーロ円>



「流れが変わるのか」

***ユーロ円日足 ペンタゴンデータ

目盛 28 円

起点 2013 年 11 月 7 日

一辺 31 日

★★★相場の長期ポイント

上昇エネルギーの強い相場が続いている。

上値のメドとして **137 円**前後を考えたい。

下落エネルギーの強い相場に転換するのは **132 円**を終値で割り込むことである。

次の注目日は 1 月 30 日である。

● A B ラインに注目したい。堅調な展開が続くのであれば、右肩上がりの A B ラインに沿って推移していくことが期待された。しかし、その A B ラインを割り込んだことから、流れが変わったのか否かがポイントになるからだ。

第 1 シナリオ

上値の重たい展開が鮮明になる可能性がある。上述したように、A B ラインを割り込んできている。A 点が位置する時間帯を通過以降、上値を抑えられている。そして、ダブルトップを形成したと考えられるからである。

第 2 シナリオ

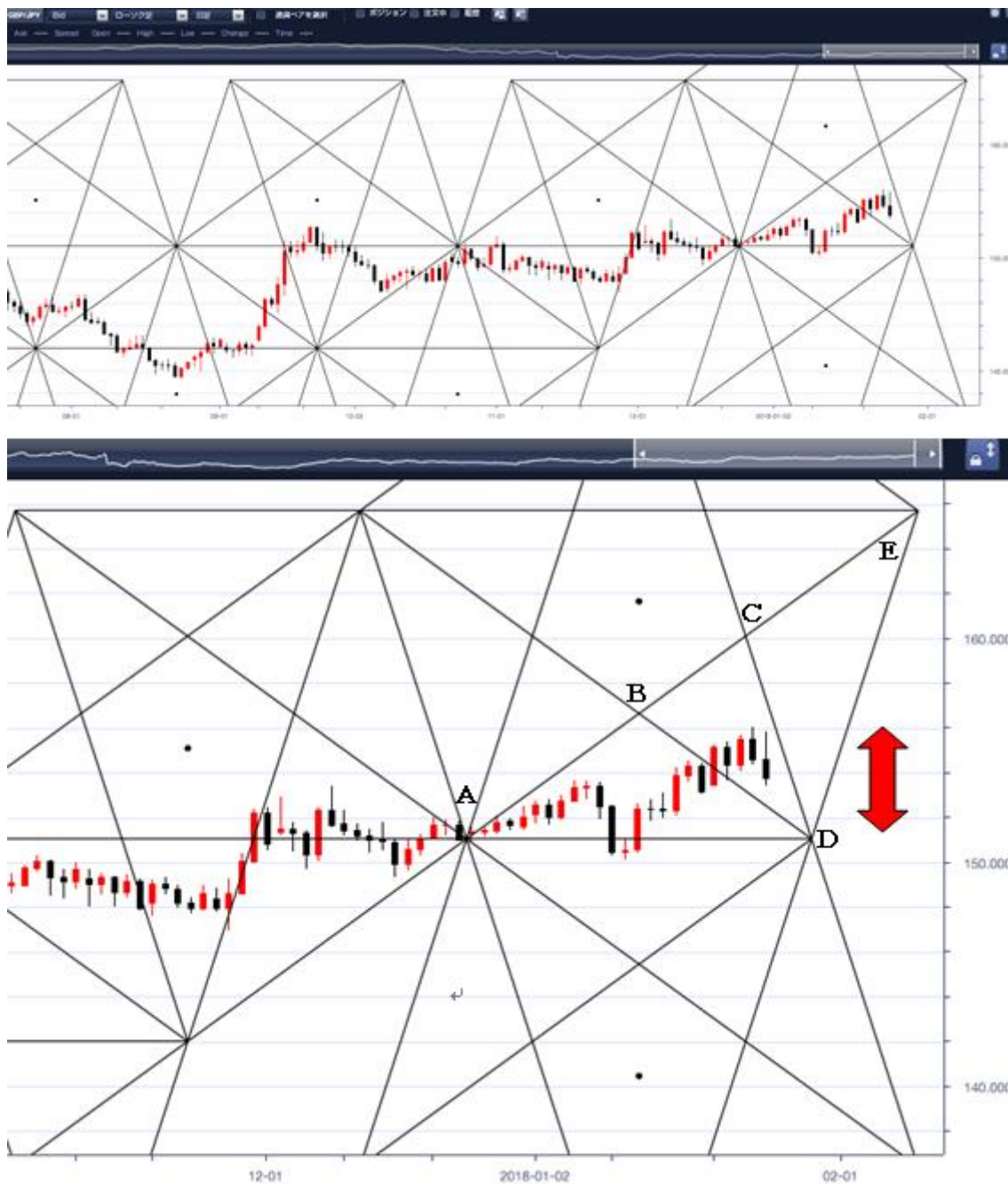
堅調な展開に戻る可能性も残っている。下値支持線 A C ラインが控えている。また、週明けに B 点が位置する時間帯を通過することで下げ止まりから上昇に転じる可能性もあるからだ。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り (1 月 26 日)	135 円	135 円
ポジション変更	136 円を超えたら、買いポジションに	

***2 週間のポジションではあったのだが、高値での上値のもち合いが強く、ダブルトップに近いパターンを形成したこともあり、数十銭の獲得値幅となった。

＜ポンド円＞



「上値が重たくなったか」

***ポンド円日足 ペンタゴンデータ

目盛 30 円幅

起点 10 月 9 日

一辺 27 日

★★★相場の長期ポイント

上昇エネルギーの強い相場が続いている。

上値のメドは **156 円** 前後を考えたい。

下落エネルギーの強い相場に転換するには **146 円 25 銭** を終値で割り込むことである。

注目日：2 月 1 日前後である。

● C D ラインに注目したい。堅調な展開に戻るのであれば、少なくとも上値抵抗線である C D ラインを超えていくことが求められるからだ。

第 1 シナリオ

上値の重たい展開が鮮明になる可能性がある。上値抵抗線 C D ラインが存在している。また、C 点が位置する時間帯に高値を示現後、下落に転じているからである。

第 2 シナリオ

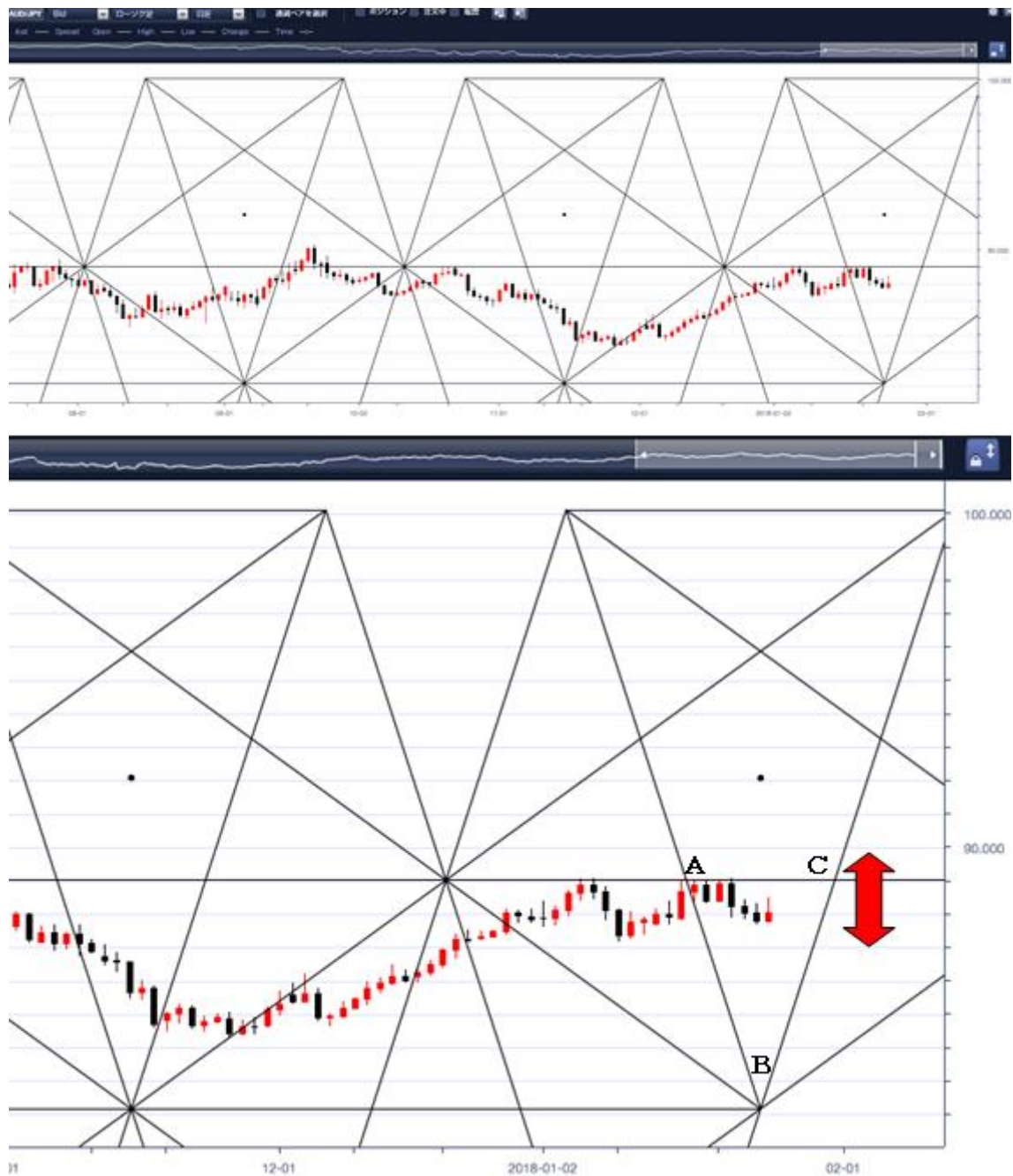
堅調な展開に戻る可能性も残っている。上値抵抗線 B D ラインを超えてきている。また、D 点が位置する時間帯を週央に迎えることで流れが変わる可能性がある。そして、下値支持線 D E ラインも控えているからである。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（1 月 26 日）	153 円 75 銭	153 円 75 銭
ポジション変更	154 円 90 銭を越えたら、買いポジションに	

*** 2 週間の買いポジションであったのだが、高値更新を捉えることが出来、3 円強の値幅を獲得できた。

<豪ドル円>



「ど真ん中の時間帯を通過」

***豪ドル円日足

目盛 20 円幅

起点 5 月 14 日

一辺 31 日

★★★相場の長期ポイント

上昇エネルギーの強い相場である。

上値のメドは **90 円前後** を考えたい。

なお、下落エネルギーの強い相場への転換のポイントは **86 円 50 銭** を終値で割り込むことである。

注目日：2 月 2 日前後である。

● B 点に注目したい。先週末にかけて B 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯を通過した。したがって、新しい流れが出るのか否かがポイントになるからだ。

第 1 シナリオ

上値の重たい展開が続く可能性がある。上値抵抗線 A C ラインに上値を抑えられている。また、先週末のローソク足が上ヒゲの長いローソク足となっている。そして、ダブルトップを形成していると考えることが出来るからである。

第 2 シナリオ

堅調な展開に戻る可能性もある。B 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯が変化日となり流れが変わる可能性がある。また、下値支持線 B C ラインが存在しているからである。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（1 月 25 日）	87 円 80 銭	87 円 75 銭
ポジション変更	88 円 75 銭を越えたら、買いポジションに	

***2 週間に及ぶ高値水準でのもち合いの中での買いポジションであった。故に獲得幅はおよそ 50 銭前後である。

※このレポートは情報提供を目的としており、投資の最終判断はご自身でなさるようお願い致します。本レポートの情報により皆様に生じたいかなる損害については弊社及び執筆者は一切の責任を負いかねます。

本レポートでは、『ペンタゴンチャート』を使って売買システム『ループ イフダン』にも対応の通貨ペアの相場動向を予測します。

ペンタゴンチャートは、トレンドの方向やシナリオ転換レートまでも示唆するテクニカルチャートです。

★ペンタゴンチャートとは★

<https://inet-sec.co.jp/study/technical-manual/pentagonchart/?=pentagon>

チャートでじっくりトレード派のお客様、ほったらかしで自動売買派のお客様も是非ご覧ください。

※今後このメール配信をご希望されないお客様は、お手数ですが当社までご連絡ください。

◆『FX ペンタゴンチャート最強の黄金分割』実業之日本社（刊）

本レポートの著者、川口一晃氏がはじめて FX 取引のペンタゴン分析について記した専門書『FX ペンタゴンチャート最強の黄金分割/実業之日本 社』が好評発売中です。ペンタゴンチャートの引き方や分析方法について詳しく紹介されていますので、よろしければ amazon や最寄りの書店 などでお買い求め下さい。

i-NET TRADER でペンタゴンチャートを描画する場合、起点となるローソク足がチャート上から消えると、追加を含む編集操作ができなくなりますのでご注意ください。

当レポートに記載されている情報は、外国為替及び投資に関する情報の提供を目的としております。提供するレポートの内容には万全を期しておりますがその内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じたいかなる損害についても株式会社アイネット証券及び 著者は一切の責任を負いません。投資に当たっての最終判断はお客さまご自身でお願い致します。

当社が提供する店頭外国為替証拠金取引（ループイフダンを含む）は、元本や利益が保証された金融商品ではありません。相場変動やスワップポイントの変動により損失が発生する場合があります。レバレッジ効果により、お客様がお預けになった証拠金以上のお取引が可能となりますが、証拠金以上の損失が発生するおそれもあります。個人のお客様の必要証拠金は、各通貨ペアのレートにより決定され、お取引額の 4%相当となります。法人のお客様は、当社が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引額に乗じて得た額以

上の証拠金が必要となります。為替リスク想定比率は金融商品取引業に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを指します。取引手数料、口座維持手数料は無料となります。取引レートの売付価格と買付価格には差額（スプレッド）があり、また諸費用等については別途掛かる場合があります。ループイフダンのスプレッドには投資助言報酬が含まれます。ループイフダンの売買ルールは、システム制作者より開示されたコンセプトであり、必ずしも記載通りに取引が行われることを当社が保証するものではありません。当社は法令上要求される区分管理方法の信託一本化を整備いたしておりますが、区分管理必要額算出日と追加信託期限に時間差があること等から、いかなる状況でも必ずお客様から預かった証拠金が全額返還されることを保証するものではありません。ロスカット取引とは、必ず約束した損失の額で限定するというものではありません。通常、あらかじめ約束した損失の額の水準（以下、「ロスカット水準」といいます。）に達した時点から決済取引の手続きが始まりますので、実際の損失はロスカット水準より大きくなる場合が考えられます。また、ルール通りにロスカット取引が行われた場合であっても、相場の状況によってはお客様よりお預かりした証拠金以上の損失の額が生じることがあります。お取引の開始にあたり、契約締結前交付書面等を熟読の上、仕組みやスリッページ、システム等のリスク及び過去実績は将来の運用成果を約束するものではないこと等を十分ご理解頂き、お客様ご自身の責任と判断にて開始して頂くようお願いいたします。ループイフダンは、当社の登録商標です。

株式会社 アイネット証券

〒100-6224

東京都千代田区丸の内 1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内

ホームページ: <https://inet-sec.co.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://inet-sec.co.jp/inquiry/> (24 時間受付)

フリーダイヤル: 0120-916-707 (受付時間 月～金曜日 AM 9:00～PM 5:00)

登録番号：関東財務局長（金商）第 11 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会（会員番号：第 1158 号）、
一般社団法人 日本投資顧問業協会